

(速報情報)

(平成30年6月22日15時発表)

主なマリレジャーに伴う人身海難(6月21日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・行方不明者数
		主なマリレジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。							

速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
死者・行方不明者は、事故者数の内数です。
調査中の事項は「」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

安全にマリレジャーを楽しむポイント

海上保安庁では海で安全に楽しむために、海での事故防止に関する情報をまとめています。
安全なマリレジャーを楽しむために、どうぞご利用ください。

「海で安全に楽しむために」 <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/seifukouhou.html>

(速報情報)

(平成30年6月21日15時発表)

主なマリネジャーに伴う人身海難(6月20日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・行方不明者数
1	6月20日 14:19頃 (情報入手時刻)	新潟県新潟市 関谷浜北北西沖	帰還不能	日本	男性	60代	スタンドアップパドルボード中に沖へ流され帰還不能となったもの。	1	0

速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
死者・行方不明者は、事故者数の内数です。
調査中の事項は「」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

安全にマリネジャーを楽しむポイント

スタンドアップパドルボード中、潮に流されて沖合いへ漂流し、帰ることができなくなる事故が発生しています。
スタンドアップパドルボードをするときは気象・海象に十分注意し、自力で陸岸に戻ることが出来る範囲で楽しみましょう
海上保安庁では、スマートフォンやパソコンで海の気象状況などを見ることができる「海の安全情報」を提供しています。
日本沿岸の灯台等で観測した気象情報(風向・風速等)や海上保安庁が発表する緊急情報を提供していますので、マリネジャーに出かける前の情報収集などにご活用ください。

海の安全情報

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年6月20日18時発表)

主なマリレジャーに伴う人身海難(6月19日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・行方不明者数
1	6月19日 11:37頃 (情報入手時刻)	愛媛県愛南町沖ノ磯	海中転落	日本	男性	70代	磯場で釣り中に海中転落したもの	1	1

速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
死者・行方不明者は、事故者数の内数です。
調査中の事項は「」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

安全にマリレジャーを楽しむポイント

磯場で釣り中に海中転落し、死亡する事故が発生しています。
釣りに出掛けるときは、万が一に備え、単独行動は避け、ライフジャケットを常時、正しく着用しましょう。
また、磯場は海草などで滑りやすくなっているため、十分注意しましょう。

海釣りの心得 <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/leisure/fishing.html>

(速報情報)

(平成30年6月19日19時発表)

主なマリネジャーに伴う人身海難(6月18日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・行方不明者数
							主なマリネジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。		

速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
死者・行方不明者は、事故者数の内数です。
調査中の事項は「」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

安全にマリネジャーを楽しむポイント

ライフジャケットをきちんと着ましょう!

ライフジャケット着用の有無が、海に落ちたとき生死を分ける大きな要因ですが、ライフジャケットは体に合ったものを正しく着ないと脱げてしまうことがあります。

ポイントは次の2点です。

- 1 「体へ密着させる」...ベルトや股紐(またひも)があるものは緩みのないよう、しっかり締めましょう!
- 2 「保守の徹底」...レジャーに出かける前に、破損がないか、膨張式のものであれば、膨張用のボンベが正しく取り付けられているか、ボンベが使用済みでないかなどを確認しましょう!

(速報情報)

(平成30年6月18日18時発表)

主なマリンレジャーに伴う人身海難(6月15～17日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・行方不明者数
1	6月16日 06:03頃 (情報入手時刻)	愛媛県伊方町 佐田岬港	海中転落	日本	男性	70代	釣り中に防波堤から海中転落したものの(救命胴衣非着用)	1	1

速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

調査中の事項は「」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

安全にマリンレジャーを楽しむポイント

1人で釣り中に防波堤から海中転落し、死亡する事故が発生しています。
大切な命を自分自身で守るためには、次の3つが重要です。

ライフジャケットの常時着用

防水パック入り携帯電話等による連絡手段の確保

118番の活用

詳しくはこちら <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/kihon.html>